

【別紙様式2】

# 運動大好き 祓川っ子の育成

～学び合い、高め合い、「できた」実感を

味わえる体育指導法の研究～

## 鹿屋市立祓川小学校

全校児童(生徒)数	63名 (男子 31名 女子 32名)		
全クラス数	8	教職員数	14
運動部活動数		運動部活動参加率	

### 取組時の課題と目的

#### 1 取組時の課題

- (1) 体力・運動能力調査の結果を見ると、全国平均を下回る種目が多く見られる。特に、長座体前屈は全学年で全国平均を下回っている。低学年男子は、8種目中7種目が全国平均を下回っている。
- (2) 「運動が好き」と回答した児童は93%であるが、「マットが嫌い」など、特定の種目に関して苦手意識をもっていたり、「失敗すると嫌」など、運動に対する不安で楽しめなかったりする児童もいる。

#### 2 取組の目的

- (1) 教科体育において、児童が主体的に学び、できた実感を味わえるように指導法を工夫することで、楽しく運動に取り組む態度の育成を図る。また、新体力テストにおいて課題となっている種目の補強運動を実施し、児童の体力向上を図る。
- (2) 教科外体育において、運動の場を設定したり、健康について考える場を設定したりすることで、主体的に運動に取り組む態度の育成を図る。
- (3) 地域や家庭と連携を図りながら生活習慣を改善し、体力向上に努めることで、普段から健康を意識して生活し、学校外でも積極的に運動に取り組む児童の育成を図る。

### 取組の内容

#### 1 教科体育の充実

##### (1) 対話を重視した「学び合い」

タブレットやワークシートを活用することで課題を視覚化し、対話による「学び合い」を行いやすくしている。また、見通しをもたせたり、話し合いの視点を与えたりすることで、自分やチームの課題を明確にし、「学び合い」をより活発に行えるようにしている。

##### (2) 異学年交流による「高め合い」

本校は全学年単学級であるが、どの学年も少人数のため、複数学年で合同授業を実施している。チーム分けやルールを工夫し、異学年でのコミュニケーションを取りやすくしたり、他学年のよさを認める場を設定したりすることで、異学年交流による「高め合い」ができるようにしている。

##### (3) 「できた」実感を味わえる工夫

個人やチームのめあての設定・振り返り、運動が苦手な児童への個別指導、動画撮影による動きの確認などを通して、児童が「できた」実感を味わえるようにしている。また、TTでの指導を行うことで、個別指導や試合の際のアドバイスが増えるようにしている。さらに、新体力テストで課題となる体力をつけるための補強運動を取り入れ、体力の向上を図っている。

### 2 教科外体育の充実

体育委員会を中心として、毎朝体力づくりを行っている。ランニングや縄跳び、鬼遊びなどの種目を取り入れている。また、「チャレンジかごしま」の各学年の記録を掲示したり、体力づくりカードを作成して取り組ませたりすることで、児童の頑張りを視覚的に確かめることができるようにしている。

### 3 地域・家庭との連携

#### (1) 地域との連携

地域の人材活用、鹿屋体育大学との連携などを行い、体力向上のための練習法などについて学ぶ機会を設定している。また、市の小体連とも連携し授業公開を行った。

#### (2) 家庭との連携

学期1回、健康週間を設定し、生活習慣の改善に加えて、体力づくりの時間の設定などを各家庭にお願いしている。家庭に持ち帰ったタブレットで体力づくりの様子を動画で撮影し、提出してもらうようにすることで、家庭で体力向上を意識し、親子でふれ合いながら運動に取り組む様子が見られた。

### ●工夫したこと

- ① タブレットを活用し、児童が使いやすい作戦ボード等の教具の作成、ワークシートの作成を行った。
- ② 運動が苦手な児童も楽しめるような種目の設定、活動の場の設定、グループ編成を行った。また、自己肯定感を高めるための声掛けも多々行った。

### 取組の成果

- ① 新体力テストで体力の向上が見られた。長座体前屈は全学年で全国平均を上回り、その他の種目についても全学年で記録の向上が見られた。



	R3	R4		R3	R4
2年男	1	4	2年女	7	8
3年男	1	5	3年女	5	8
4年男	2	4	4年女	1	3
5年男	4	7	5年女	6	8
6年男	3	6	6年女	2	8

- ② 「運動やスポーツが楽しい」と答えた児童が98%に増えた。また、作戦を意識した声掛けや、よいプレーに対する称賛の声掛けなどができるようになってきたことで、「できた」実感を味わえる場が増え、意欲をもって活動する児童も増えた。

### 今後の課題

- ① 新体力テストの他の種目(特に全国平均を下回った種目)についても向上を図ることができるよう、補強運動を行う。
- ② 体力づくりの項目や掲示物の内容を見直すなどの改善を続けていく。
- ③ 幼保小での連携も行い、運動能力の向上を図る。

# 1 教科体育

## (1) 対話を重視した「学び合い」



チームメンバーの顔写真、ボールなどのコマを自由に動かすことができる。高学年は敵のコマも置きながら話しを進めている。

【作戦ボードを用いた話し合い】



遅延カメラを用いて自分たちの動きを確認しながら話し合いをしている。



【ワークシートの活用】

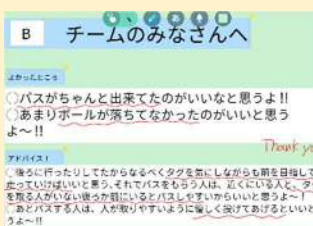


【動画の撮影・活用】

## (2) 異学年交流による「高め合い」



【異学年によるチーム編成】



【他学年を認め合う場の設定】



【柔軟運動を取り入れた準備運動】



【めあて・振り返りシート】

## (3) 「できた」実感味わわせる工夫

# 2 教科外体育

## (1) 朝の体力づくり



【縦割り班による長縄エイトマン】



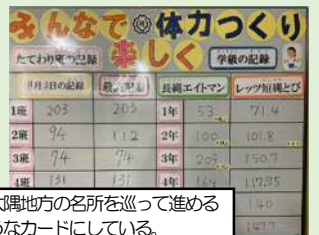
【ふえおに】

## (2) 体力づくりカード



【なわとびカード】

## (3) 環境設備



【体育掲示板】

# 3 地域・家庭との連携

## (1) 地域人材の活用

学生に動きの指導、ヒント動画の作成をお願いしている。研究授業の際は、学生、教員も加えて授業研究を行った。また、鹿屋体大が主催するスポーツ標語コンクールに応募し、運動をすることへの関心を高めることができた。



【健康づくりフォーラム講師との連携】



【鹿屋体育大学との連携】



【地域住民との連携】

## (2) 小体連との連携

## (3) 家庭における運動への取組



【授業研究会】

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10. 運動の楽しさを知る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【健康大作戦】



【家庭での体力づくりの啓発】

